

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	浅間温泉癒しとやすらぎの温泉地づくり
事業主体 (連絡先)	浅間温泉旅館協同組合婦人部 (ホテルおもと 山本直子)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	739,520円 (うち支援金: 554,000円)

事業内容

- モニターツアーの実施
時期 平成28年11月28日～11月30日
参加者 9名
- 松本山雅とのコラボ
(1)ホームゲームを活用した宣伝
・時期 平成28年11月3日
・場所 アルウィン
(2)合宿の誘致
・時期 平成28年8月2日～8月6日
・記念品の贈呈
- ホームページの制作
浅間温泉旅館協同組合HPに婦人部のページを追加



【モニターツアー実施状況】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- モニターツアーの実施
・歴史文化の紹介は、地元の方にも好評であった。隠れた魅力を掘り起し、紹介することで新たなツアーコース、宣伝につながることを期待できる。
・浅間温泉周辺の自然環境について評価が高い。浅間温泉の自然を活かしたツアーや宣伝活動は有効である。
- 松本山雅とのコラボ
浅間温泉への誘致につなげることができた。
(誘致550人)
- ホームページの制作
女将からの情報発信が可能となり、宣伝に厚みがました。

【目標・ねらい】

- ①他の温泉地等と差別化が図れる温泉地づくり
- ②山雅とのコラボを図りスポーツ療養や合宿誘致を目指す

※自己評価【B】

【理由】

モニターツアーを実施したことから浅間温泉をPRする新たなコースを開発することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2カ年行ったモニターツアーにより開発したメニューをモデルコースとして、雑誌媒体等を活用して宣伝し県内外で周知を図る。また、浅間温泉でしか体験できない滞在型メニューとして定着化、商品化につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)